

かほく市地域包括支援センター運営協議会 令和7年度第1回会議報告

招集年月日	令和7年10月27日（月）
招 集 場 所	かほく市役所 302 会議室
開 会 日 時	令和7年10月27日（月）午後7時00分
閉 会 日 時	同 午後8時06分
委員の定数	10 人
出 席 委 員	米澤 洋美、谷中 美雪、中本 利光、藤田 拓也、高附 賢史、森 茂信、 谷内 政広、油谷 喜美枝、坂本 理恵
欠 席 委 員	三浦 陽一
事 務 局	多田 直隆健康福祉部長、藤井 美喜子長寿介護課長、谷内 憂子担当課 参事、平野 誠課長補佐、林 あゆみ主幹、橋岡 裕輝主幹兼介護予防係 長、菊田 真亜子主幹兼高齢者支援係長、卯辰 一馬主事、藤田 元春主 事
議 事 の 経 過	
事務局	ー委員1名の欠席、会議の成立について事務局より説明ー ー健康福祉部長挨拶ー ー新任委員2名からあいさつー
事務局	ー事務局より議件1)かほく市地域包括支援センター職員体制、議件2) 令 和7年度上半期高齢者支援センター業務実績について順次説明ー
事務局	初期集中支援チームの実績報告で、上半期が0件であるが、市の人口規模 を考えると、今後実績が増えるなどの方向性はあるか。 昨年度実績は2件、経過確認1件。初期集中支援チームの会議は、認知症 があるがなかなか医療につながらないケースをどのような形で支援してい けばよいのか、医師や看護師などの専門職の方々と一緒に考えていくとい う目的となっている。 在宅医療・介護連携コーディネーターが今年度、常勤勤務となったことも あり、初期集中支援チームの会議へはかる前に、連携がうまく取れ、現在 0件の実績となっている。
会長 事務局	地域ケア個別会議の参集者はどのように決まるのか。 市の包括支援センター（高齢者支援センター）が、主催となり必要な方に 声かけをしている。
委員	ある地区の住民に健康補助食品を試してもらい、医療にかかる手前で健康

会長	づくりができるという検証のようなことができないものか。 いろいろな健康補助食品が販売されてはいるが、中には科学的根拠が不確かな製品もある。個人的には、運動がおすすめであり、かほく市では、「かほくプラチナ筋力アップ体操」をしっかりと取り組んでいる。
委員	お達者ですか訪問について、67 人が訪問終了となっているが、この方々の実態を知りたい。
事務局	高血圧の方が非常に多いことに加え、何年もその状況が続いていても受診されていない方が多い印象を受ける。 家族にお伝えする、電話で再度受診勧奨する、毎年訪問を続けるなど継続的に支援している。
事務局	－議件 3）高齢者等見守りシール交付事業の普及について、事務局より説明－
委員	利用料金などはかかるか。
事務局	シール 30 枚までは無料で交付している。
会長	－事務局より議件 4）居宅介護支援事業所の承認について（新規 2 事業所）について説明－ －拍手で承認－
会長 委員	石川中央保健福祉センターからのから、ご助言をいただきたい。 かほく市は、直営で包括支援センターを運営しているため、きめ細やかにたくさんの事業を展開されている。 個別ケースの中で地域の課題がみえ、地域全体で考えることで住みよいまちづくりにつながっていくはずなので、県も協力していきたい。 －事務局より「認知症にやさしいまちづくりシンポジウム」について説明－ 閉会